

エンゼトニン液 0.01[®]

開封日

年 月 日

500mL

外用殺菌消毒剤

2015年1月改訂(第3版)

滅菌製剤

エンゼトニン液 0.01[®]

Enzetonin Solution 0.01
日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

0.01%

500mL

日本標準商品分類番号
872616

承認番号 21000AM200391000
薬価収載 1999年 7月
販売開始 1999年 7月
再評価結果 1982年 8月

貯法:遮光、室温保存
使用期限:ラベルに記載

調剤 販売



(01)04987288201014



(01)114987288201257

製造
番号
使用
期限

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951

キャップ:PP
ボトル:PP
ラベル:PS
ゴム:ゴム栓



エンゼトニン液 0.01[®]

500mL

外用殺菌消毒剤

500mL

滅菌製剤

エンゼトニン液 0.01[®]

Enzetonin Solution 0.01
日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

【組成・性状】

- 組成
ベンゼトニウム塩化物0.01%w/v
添加物としてホウ砂、エデト酸ナトリウムを含有する。
- 製剤の性状
本剤は無色透明の液で、においはない。
本剤は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜炎の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
皮膚・粘膜炎の創傷部位の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。

【使用上の注意】

- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
- 過敏症注) 発疹、痒痒感等(頻度不明)
- 注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。
- 適用上の注意
(1)人体
1)投与経路:経口投与しないこと。洗眼には使用しないこと。
2)使用時
ア.皮膚・粘膜炎の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
イ.粘膜炎、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。
ウ.密封包装、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
(2)その他
1)調製方法
繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンゼトニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように注意すること。

2)使用時

- ア.血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落としから使用すること。
- イ.石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としから使用すること。
- ウ.皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

【薬効薬理】

本剤は芽胞のない細菌、真菌類に広く抗菌性を有し、グラム陽性菌には陰性菌より低濃度で効果を示す。結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

【取扱上の注意】

本剤は滅菌製剤なので、開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
東京都中野区中央5-1-10

エンゼトニン液 0.01[®]

開封日

年 月 日

エンゼトニン液 0.01[®]

500mL

外用殺菌消毒剤

2015年1月改訂(第3版)

500mL

外用殺菌消毒剤

500mL

滅菌製剤 エンゼトニン液 0.01[®]

Enzetonin Solution 0.01
日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

0.01%

500mL

日本標準商品分類番号
872616

承認番号 21000AMZ00391000
薬価収載 1999年 7月
販売開始 1999年 7月
再評価結果 1982年 8月

貯法:遮光、室温保存
使用期限:ラベルに記載

調剤 販売



(01)04987288201014



(01)114987288201257

製造
番号
使用
期限

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951

キャップ:PP
ボトル:PP
ラベル:PS
ゴム:ゴム栓



【組成・性状】

1.組成

ベンゼトニウム塩化物0.01%
添加物としてホウ砂、エデト酸ナトリウムを含有する。

2.製剤の性状

本剤は無色澄明の液で、においはない。
本剤は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

過敏症注) 発疹、痒痒感等(頻度不明)

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

2.適用上の注意

(1)人体

1)投与経路:経口投与しないこと。洗眼には使用しないこと。

2)使用時

ア.皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。

イ.粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。

ウ.密封包装、ギブス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2)その他

1)調製方法

繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンゼトニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように注意すること。

滅菌製剤

エンゼトニン液 0.01[®]

Enzetonin Solution 0.01
日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

2)使用時

ア.血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落とししてから使用すること。

イ.石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落とすしてから使用すること。

ウ.皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

【薬効薬理】

本剤は芽胞のない細菌、真菌類に広く抗菌性を有し、グラム陽性菌には陰性菌より低濃度で効果を示す。結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

【取扱上の注意】

本剤は滅菌製剤なので、開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
東京都中野区中央5-1-10